

情報公開項目一覧(令和2年度)

専門学校 中央農業大学校

ガイドラインの項目	学校が設定する項目	
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育・人材育成の目標	<p>○建学精神 『農と食を融合した「新たなアグリ産業」を創造し開拓する』</p> <p>○教育目標 『自らを高め、広い視野で物事をとらえ、創造的で実践力を備えたビジネス界で幅広く活躍する人材を育てる。』</p> <p>○学園標語 『思いやりの心、感謝の心、奉仕の心』</p> <p>○本学生がめざすもの 『失敗から学ぶ心と方法を知る』『一生の間を通じて、仕事を学ぶ『心』と『方法』が分かる人間』</p>
	指導計画	<p>○基本方針 本校では、所定の年限の課程を通じて、高度な知識と技術を修得し、社会に貢献できる豊かな人間性を身につけることを最大の目標としている。 社会は、単に言われた通りに仕事ができる人間ではなく、与えられた環境の中で何を為すべきかを考え、その実現の為に自らの意思で行動できる明るく積極的な人間を求めている。このことは、人から教えてもらうのではなく、さまざまな体験を通じて事実をつかむ眼、本質を見抜く力を養い、そして、そこで生ずる問題を自分の問題としてとらえる力を身につけることにより学べるものである。実社会で最も必要としている問題解決能力とは、まさにそのことの実践でもある。 「体験から学ぶ」ことの大切さを理解し、自ら学び、自ら行動することをめざし学生生活が有意義に送れるよう心がけることを学生に望む。 特に、学習活動のみならず学校内外の諸活動、仕事経験など、幅広い「体験」から「学ぶ」ことによって、一人ひとりのアイデンティティを高めていくことを本校の真の狙いとしている。</p> <p>○具体的方針 「やって・見て・考える」</p> <p>1. 発想法 課題を達成するための問題解決の手法として、与えられたテーマで一人ひとりが小さなカードに事実を簡潔明瞭に書き、それを分類・整理・ディスカッションをして「事実の本質」を掴み取り参加した者全員が認識する発想法を用いる。</p> <p>2. 歩行ラリー 予め設定されたコースを二人一組でルールに則り、コマ地図にある自然や造形物を目標に指示された経路を指示された時間でスタートからゴールまで歩く。この体験の中から問題解決の実践により「事実の本質」を身をもって体得することとなる。</p>
(2) 各学科等の教育	入学者数	ファーム農業経営学科23名、農業経営学科20名、食農調理師学科4名(令和2年度)
	収容定員	ファーム農業経営学科150名、農業経営学科60名、食農調理師学科50名(令和2年度)
	在学学生数	ファーム農業経営学科51名、農業経営学科35名、食農調理師学科6名(令和2年度)
	カリキュラム	シラバスに記載(職業実践専門課程認定学科はHPの情報公開 様式4「授業科目等の概要」)
	進級・卒業要件	<p>(1)進級・卒業は学校長がこれを認定する。</p> <p>(2)進級基準 次の基準を満たした者について進級を認定する。 ①年間換算欠席日数が20日以下の者 ②全科目評定が認定された者 ※出席率が70%に満たない場合、不認定(評定D)とする。</p> <p>(3)卒業基準 次の基準を満たした者について卒業を認定する。 ①年間換算欠席日数が20日以下の者(遅刻・早退換算含む) ②卒業基準の検定試験に合格した者 ③全科目評定が認定された者 ※出席率が70%に満たない場合、不認定(評定D)とする。</p>
(3) 教職員	教職員数	専任教員数11名、兼任教員13名
	組織	学校長、副校長、教務部教務課、広報推進部、広報管理部、アグリビジネス事業部
	教員の専門性	専門学校教職資格保有者10名
(4) キャリア教育・実践的教育	キャリア教育への取り組み	就職研究、インターンシップの活用、担任と就職指導センターと連携し、個別相談、カウンセリング等の実施
	実習・実技、コンテスト等への取り組み	連携企業での実習、連携企業社員による学校園場での実習、GIA群馬イノベーションアワード・各種コンテスト参加
	就職支援	学園主催企業がイグニス、学校主催企業がイグニス、就職総決起大会、個別企業がイグニス、ビジネスマナー講習会、担任と就職サポート専任スタッフの連携
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事	入学式、就職総決起大会、歩行ラリー、スポーツフェスティバル、国内研修旅行、収穫感謝祭、企業ガイダンス、高資格合格発表会、卒業式・謝恩会
	課外活動	地域清掃、地域ボランティアへの随時参加
(6) 学生の生活支援	中途退学	定期的な学生面談を実施、保護者との緊密な連携
	心身の健康	定期的な学生面談を実施、保護者との緊密な連携
	留学生支援	学生生活のサポートは募集要項に記載、就職サポートはHPに記載(特に区別していない)
	障がい者支援	学生生活のサポートは募集要項に記載、就職サポートはHPに記載(特に区別していない)
	金額	HPIに記載
	納入時期	1年次の校納金・実践教育指導費 ・入学試験合格発表後、30日以内に原則として一括納入(1年分) 2年次以降の校納金・実践教育指導費 ・進級前の1~2月に案内 学級費 ・金額ならびに納入期日は、対象年度の4~5月に案内
(7) 学校の財務	経済的支援措置	一人暮らし応援プログラム、通学定期サポートプログラム、学割、兄弟姉妹割引制度、入試区分別の免除額あり(特待生入試、特別推薦入試A、特別入試B等)
	貸借対照表	HPIに記載
(8) 国際連携の状況	収支計算書	HPIに記載
	留学生の受入れ	対応している、募集要項にて周知
(9) その他	外国の学校との交流	なし
	厚生施設の案内	なし、連携企業施設を校内掲示にて紹介